

支所だより

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「いずん掘」の「臼池さん」

～地域に親しまれる憩いの水辺～

大明神川周辺では、古くからかんがい用水を確保するために伏流水を利用しており、その代表的なものが「いずん掘（泉掘）」です。旦之上から三芳にかけて残る5カ所の「いずん掘」は今も水をたたえています。今回はその中で現在も地元の人に親しまれている「臼池さん」を紹介します。

その昔、弘法大師がこの地を巡錫した際に、道端の小川のわずかな水で芋を洗っている老婆と出会いました。大師



今も大切にされている大師堂

がその芋を所望したところ、老婆は快く幾つかを差し上げました。その後、老婆からこの里が水不足で困っていることを聞いた大師が、持っていた杖をにわかにかげに突き立て何事か念じると、その場所からこんこんと清水が湧き出してきました。村人たちは喜び勇んで臼の形をした井戸枠をはめ、お大師さんに賜ったこの井戸を、「御来仰の井戸」「臼池さん」と親しみを込めて呼ぶこととしました。

村人がその隣に建てた大師堂は、今に至るまでお線香の煙が絶えることはないということです。

現在では大師堂の前に休憩所が設けられており、四国八十八ヶ所巡礼のお遍路さんたちにとって憩いの場となっています。



水をたたえ続ける「臼池さん」

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

独居老人も安心！ 資源ごみ収集で声かけ

～徳田地区婦人会～

丹原総合支所管内で、地区の婦人会としては唯一、資源ごみの回収に取り組んでいるのが徳田地区婦人会です。

独居老人訪問時の「誰か出してくれる人がいたら助かる」という声がかきかけで、安否確認を兼ねた独居老人宅の資源ごみ収集を始めました。その後、独居老人宅だけでなく、広く地区内での取り組みへ活動を拡大したものです。

収集前には地区の皆さんにお知らせの文書を配布して、ダンボール・新聞紙・雑誌に分別をしてもらっています。地区自治会でも地区放送で協



集められた大量の資源ごみ



地域がつながる活動に

力を呼びかけています。その結果、昨年の回収量は約23トンにも上りました。

こうした取り組みは、婦人会の活動費捻出につながり、各種の活動に有効活用されています。

また、活動を通じて楽しく感じるのは、独居老人の方が気軽に声をかけてくれるようになったことや、婦人会員同士の情報交換が多くできるようになったことなどです。さらに、会員の活動に夫が協力し、ご夫婦での参加が増えたのもうれしいことの一つです。

今後もこの活動により、ますます地域のつながりが広がり、資源リサイクルによる環境美化が進展することを願っています。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

知識・学問の芳香漂う憩いの場所

～小松温芳図書館～



市内にある公立図書館の内、地名以外の名が付いているのは小松温芳図書館だけです。なぜ「温芳（おんぼう）」という名前が付いたのでしょうか。

昭和12年、当時県内でも珍しい私設図書館として温芳図書館は開館しました。開設者の一柳春二先生が伊予聖人・近藤篤山先生の書齋「尋芳（じんぼう）堂」と篤山先生の長子・南海の書齋「温巢（おんそう）堂」から1文字ずつもらって名付けられました。この図書館に「人々が集まり、故きを温ね新しきを知り、知識・学問の芳香が漂う場所であって欲しい」との思いが込められたものです。

昭和20年に一柳先生が急逝された後、温芳図書館は当時の小松町に寄贈され町立での運営となり、その後、平成7年に郷土資料室を備えた新しい図書館となっています。ロビーでは季節ごとにお薦めの本が紹介され、閲覧室では子どもから大人まで読書に親しみ、また視聴覚室では読み聞かせを行うおはなし会も好評です。

郷土資料室には、市指定文化財をはじめとする小松藩の古文書や、町内出土の考古資料などを収蔵しています。また3月21日まで、小松町大頭の旧庄屋・佐伯家から平成21年に寄贈された小松藩主文書や庄屋文書、江戸時代の扁額など百点以上の貴重な資料を特別展示しています。

先人の思いが詰まった小松温芳図書館。ぜひ一度、お訪ねください。



初公開の資料